

皆さんおはようございます。今日で8月も終わり、明日から9月です。まだまだ暑いですが季節は、これから秋に入っていきます。

さて、8月3日の全校朝会で、校長先生は俳句についてお話しました。その時に、4年生、5年生、6年生の俳句を紹介したのですが、1年生も俳句についてお勉強していました。

ここで、紹介します。

なつやすみ ことりがうたう ふうりんと(おの すみれ さん)

小鳥は鳴くものですが、そこを風鈴と一緒に歌うと表現したところがいいですね

あめあがり くびをのばした かたつむり(かたおか あかね さん)

雨上がりのさわやかな様子がカタツムリが首を伸ばした様子からよく感じ取れる俳句です  
つるつると そうめんながす なつのおと(しんざと るいと さん)

流しそうめんをした時の、つるつると滑り落ちるそうめんの音が夏らしさを表しています  
どれもすばらしい俳句です。

さて、ここでみなさんにお願いがあります。今、新型コロナウイルスの感染拡大で日本、そして世界が大変なことになっています。元気をなくしている人、暮らしぶらくなったりかんじる人、楽しみが少なくなったりいやだなと思っている人がたくさんいます。そこで、みなさんに元気をなくしている人を元気づける俳句を作ってほしいんです。新型コロナウイルスに負けないように頑張りましょう、という気持ちが伝わる俳句を作ってほしいんです。そしてその作った俳句は、学校の外にある柵にかざります。学校の前を歩くたくさんの人たちに見てもらおうと思います。どんな俳句が作れるでしょう。ここで、4年生がやってみたというので、代表作品を紹介します。

感染症 笑顔とちえで 立ち向かえ(あんなか りさこ さん)

笑顔と知恵で、というところがいいです。苦しくてもいつも笑顔を忘れず、よく考えてアイデアをだしてコロナに立ち向かえ、という強い気持ちが伝わります

来年は ゆかたすがたで 友と会う(つしま みく さん)

来年こそ楽しみな夏祭りに行きたいな、それも夏らしい浴衣で行きたいな という願い素直な気持ちが伝わります

コロナでも 負けるな日本 前向きに(おおの あや さん)

負けるな、という強い気持ちとそこに日本がついて、日本人よ一つにまとまって力を合わせようという気持ち、そして、前向きにと、悪くばかり考えずにいこうという気持ちが伝わります

見えぬ敵 去ればとねがう 夏の夕(もみい はな さん)

コロナの敵の怖さ、それは見えないことですね。この敵が早くいなくなってほしいという素直な気持ちが伝わります

来年は マスクをはずし 手をつなごう(ふじしま さくら さん)

今年できないこと、それは、マスクをはずすこと、そして手をつなぐこと、来年こそは、叶えたいという願いが伝わります。

どれも素晴らしい俳句ばかりです。ほかの友だちの作品もいい作品があったのですが、代表の6人だけ紹介しました。

用紙を全員分配りますので、学校やお家で作ってみてください。これは宿題ではありません。できる人がやってくれればいいです。

できたものは、担任の先生に提出してください。期待しています。

それから、4年生、5年生、6年生が作ってくれた俳句の代表の人の作品は外の柵に飾ってあります。見てください。

これで、校長先生のお話を終わります。